

収穫適期を確認してください！

今年も暑い夏が予想されており、刈り遅れによる品質低下が懸念されます。収穫適期を逃さないよう、早めに作業計画を立てましょう。

出穂期 25 日後までは飽水管理を徹底し、籾の黄化率を確認しながら適期収穫に努めてください。

1. 早生品種の収穫開始予想日(7月30日現在)

出穂期		収穫めやすまでの積算気温 (本年)※1	収穫めやすに達する予定日 (アメダス地点別)※2	
			相 川	羽 茂
なつひめ	7月14日	950℃	8月19日	8月19日
新潟次郎	7月16日	950℃	8月21日	8月22日
五百万石	7月16日	925℃	8月20日	8月21日
こしいぶき	7月21日	925℃	8月26日	8月26日

※1 高温が予想されているため、50℃(2日程度)早めている。

※2 日平均気温の積算から予想。7月30日以降は平年値を使用。

2. 収穫までの管理ポイント

- (1) 高温登熟年は、基部未熟粒の発生が多くなり、品質低下が懸念されます。刈り遅れとならないよう、「収穫適期めやす」や「天気予報」を確認しながら、作業計画を立ててください。
- (2) 落水を早めると、粒の厚みが不足した未熟粒の増加につながるため、出穂期 25 日後まで飽水管理を行いましょう。また、水はけの悪い場合は、水尻まで適切に排水できるよう、あらかじめ溝の補修を行ってください。
- (3) 収穫開始の目安は、籾の黄化率が 85%に達した頃です。積算気温を参考にしながら、必ずほ場で籾の黄化状況を確認してください。
なお、収穫適期の判断は、佐渡米カレンダーの 9 月のページを参考にしてください。
- (4) 収穫期の気温が高いほど、生籾は変質しやすくなります。収穫後は速やかに乾燥機へ張り込み、日中は通風乾燥を行ってください。また、乾燥機の取扱説明書に従って適正な乾燥速度になるように設定し、丁寧な乾燥を心掛けてください。



【普及センターHP】
収穫適期めやす(積算
気温表)はこちら

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう

次の発行は、8月20日頃「コシヒカリ収穫適期版」を予定しています。